

2026 年 7 月 27 日

各 位

株式会社 北海道銀行

大樹町と株式会社バイウィルとの環境価値活用による カーボンニュートラル達成に向けた連携協定の締結について

ほくほくフィナンシャルグループの北海道銀行（頭取 兼間 祐二）は、北海道大樹町（町長 黒川 豊、以下「大樹町」）および株式会社バイウィル（代表取締役社長 下村 雄一郎、以下「バイウィル」）との間で連携協定を締結しましたのでお知らせいたします。

本協定をもとに、大樹町内で創出可能な J クレジットをはじめとする各種環境価値に関する情報・ノウハウ等の共有や、新たなビジネスモデルの創出に取組み、三者が連携して地域のカーボンニュートラルの実現を目指してまいります。

記

1. 連携事項

- （１）環境価値に関する情報・サービス・ノウハウ等の提供
- （２）環境価値を活用した新たなビジネスモデルの創出
- （３）その他、本協定の目的に資すると当事者すべてが認める事項

2. 本協定締結に至った経緯

大樹町は、2021 年 12 月に「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、2050 年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指しております。実現に向けて、公共施設への再生可能エネルギーの導入や、家畜ふん尿由来のバイオガス発電など、地域資源を生かした脱炭素の取組みを推進しています。

このような背景から当行は、J クレジット創出事業を支援するバイウィルを大樹町へ紹介し、本協定の締結に至りました。今後、バイウィルは森林由来の J クレジット創出・販売をご支援する予定です。販売面では当行も協力し地域活性化を図ってまいります。

3. 連携協定式 ＜日時・場所：2026 年 7 月 27 日（月）14 時 00 分・大樹町役場＞



【写真左から】

北海道銀行 執行役員
十勝地区営業担当兼帯広支店長 堀 勝律

大樹町 町長 黒川 豊 様

株式会社バイウィル
執行役員兼環境価値共創本部長 前田 哲志 様

4. 該当する SDGs の目標



SDGs は Sustainable Development Goals の略称で、2015 年に国連で採択された 2030 年までに達成すべき 17 の目標と 169 の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。ほくほくフィナンシャルグループは、2019 年 4 月に「SDGs 宣言」を表明しました。

以 上

＜本件に関するお問い合わせ先＞

北海道銀行 経営企画部サステナビリティ推進室 大西 Tel(011)233-1009
経営企画部広報 C S R 室 坂野 Tel(011)233-1005